

子どものかかりやすい病気等 保育園における感染症の登園基準一覧表

※Ⅰ. は、集団感染のおそれがあるため、登園停止(出席停止)となります。決められた期間（治癒するまで）は登園停止になります。治癒して登園する時は、登園許可書をご提出ください。なお、欠席にはなりません。

Ⅱ. は集団生活で流行する可能性のあるものです。治癒するまで登園を停止、控えるなどして、流行をくい止めたいものです。Ⅲ. は、治療が必要なものです。Ⅱ. Ⅲ. も登園許可書の提出をお願いします。

※登園許可書は「厚生労働省 保育所における感染症ガイドライン」に準じています。

※やむを得ず、薬を持たせるときは1回分ずつ小分けにして、記名をしてください。投薬開始日には、園の投薬依頼書を提出して、必ず薬の用法用量をクラス担任にお知らせくださいますようお願いいたします。

厳浄寺保育園嘱託医：

吹上クリニック

電話 099-296-2711

吹上歯科

電話 099-296-2508

Ⅰ. 「保育所における感染症ガイドライン」で定められた登園停止が必要な感染症

| No. | 病名 | 主な症状 | 潜伏期間 | 休みの目安 |
|-----|---------------|---|---------------------|-------------------------------|
| 1 | インフルエンザ | 12月～3月に流行、突然の高熱が出現し、3～4日間続く／全身がだるい・食欲がない・頭痛・手足の筋肉痛・腰の痛み・のどの痛み・鼻水・咳など 注意事項 肺炎、中耳炎・熱性けいれん・脳症などの合併症を起こすことがある ・発症前24時間～発症後3日程度までが感染力が強い ・迅速検査は、発熱出現後、半日以上経過してから | 1日～ 4日 (平均2日) | 発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで |
| 2 | 麻疹 (はしか) | 38℃以上の高熱・咳・鼻水・目やになど、かぜと同じ症状→いったん熱が下がり、再び高熱が出ると同時に全身に発疹が現れる→発疹が現れてからも、さらに3～4日高熱が続く 注意事項 中耳炎・肺炎・熱性けいれん・脳炎などの合併症を起こすことがある ・発症1日前から発疹出現後の4日後まで感染しやすい(感染力が強い) | 8日～ 12日 | 解熱した後、3日を経過するまで |
| 3 | 風疹 (3日はしか) | うつってから2～3週間後に赤くて小さな発疹が体中に出る・熱はまったく出ない子から3日間高熱が出る子までさまざま／いずれにしても3日で治る／「3日はしか」とも言われるが、はしかとは違う 注意事項 妊婦初期に風疹にかかると、生まれてくる赤ちゃんの目や耳や心臓に障害をきたすことがあるので、送迎時は注意 ・発疹出現7日前から発疹出現後7日間まで感染しやすい | 14日～ 23日 | 発疹が消失するまで |
| 4 | 水痘 (水ぼうそう) | 水をもった赤い発疹が、口の中から陰部、頭の中まで全身に出る ・発疹は2～3日でピークとなり、その後乾いて黒いかさぶたになる・平均して1週間ぐらいでよくなる ・かゆみ強い 注意事項 発疹が出現する1～2日前からすべての発疹がかさぶたになるまで感染しやすい ・感染力が強い | 14日～ 16日 | すべての発疹がかさぶたになるまで |

| No. | 病名 | 主な症状 | 潜伏期間 | 休みの目安 |
|-----|---------------------|---|------------------------------|---|
| 5 | 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) | 耳の下(耳下腺)やあごの下(顎下腺)が腫れて痛がる／ たいてい左右とも腫れるが、片側だけのこともある・腫れ は1～3日でピークになり、1週間ほどでひく・熱は3～ 4日でおちつく | 16日～ 18日 (12日 ～25日) | 耳下腺、顎 下腺、舌下 腺の腫れが 発現した後 5日を経過 し、かつ全 身状態が良 好になるま で |
| | | 注意事項 合併症として無菌性髄膜炎(発熱に頭痛・嘔吐 を伴う)・難聴、急性脳症を起こすことがある ・ウイルスは耳下腺腫脹前7日から腫脹後9日まで唾液 から検出 ・耳下腺腫脹3日前から腫脹出現後4日間は 感染力が強い | | |
| 6 | 咽頭結膜熱 (プール熱) | 39～40℃の高熱が4～5日続き、のどの痛みが強く、 目も赤くなる・さらに頭痛、吐き気、腹痛、下痢を伴うこ ともある ・アデノウイルスが原因 ・夏にプールを介し て学童のあいだに流行するので「プール熱」の名がある が、プールに入らなくてもうつる ・夏以外にもみられる | 2日～ 14日 | 主な症状 (発熱、咽 頭発赤、眼 の充血)が 消失してか ら2日を経 過するまで |
| | | 注意事項 ウイルスは、のどから2週間、便から数週間 (治った後も30日間程度)排泄されるので、おむつの取 扱いに注意 ・流水、石けんによる手洗いを厳重に行う | | |
| 7 | 流行性角結膜炎 (はやり目) | 涙目・眼の充血・目やに・耳前リンパ節の腫れと圧迫した ときに感じる痛み | 2日～ 14日 | 医師におい て感染の恐 れがないと 認められ るまで(結膜炎 の症状が消 失してから) |
| | | 注意事項 ウイルスは1ヶ月ほど排泄されるので、登園 後も手洗いを励行 ・洗面具やタオルの共有をしない ・感染期間は発症後2週間 | | |
| 8 | 百日咳 | 感冒様症状からはじまる・次第に咳が強くなり、1～2週 間で特有な咳発作(コンコンと咳込んだ後にヒューとい う笛を吹くような音を立て息を吸う) ・咳は夜間に悪化 ・合併症がなければ、発熱はない | 7日～ 10日 | 特有な咳が 消失するま で又は5日 間の適正な 抗菌性物質 製剤による 治療を終了 するまで |
| | | 注意事項 感染力は感染初期(咳が出現してから2週間 以内)が最も強い ・抗菌薬を投与しないと約3週間排菌 が続く | | |
| 9 | 髄膜炎菌性髄膜炎 | 熱が出て、頭がすごく痛くなり、何度も吐く ・症状が進 行すると、意識がなくなったり、けいれんをおこすなどの 激しい症状が現れる / 命にかかわることがある | 4日 (2日～ 10日) | 病状により 学校医その 他の医師に おいて感染 の恐れがな いと認める まで |
| | | 注意事項 同居者への感染の危険が高いため、抗菌薬の 予防投与がすすめられている | | |